

南島史学会創立 50 周年記念論集『東アジアにおける南島研究（仮）』

原稿募集のご案内

来年、南島史学会が創立 50 周年を迎えるにあたり、2021 年 4 月に記念論集を春風社より刊行することになりました。

つきましては、以下の要領で原稿を募集いたします。詳しい執筆要領は別紙をご覧ください。

- 投稿資格：南島史学会の会員であればどなたでも投稿する資格がありますが、今年度までの年会費を納入していることが必須です。
- 掲載：編集委員会を中心とした査読過程を経たうえで掲載に至ります。全体で 10 章程度の予定です。
- 分量：各章 1 万 8000 字以内（注と参考文献と写真も込み）
※ 字数制限を守ることは必須です。
- 締め切り：2020 年 8 月 31 日（月）17 時
※ いかなる理由があれ、締め切りを過ぎての受け付けは一切いたしません。投稿を予定されている方は早めにご準備ください。
- 原稿の送付：
原稿は zimukyoku@nanto-shigaku.jp に Word の文章で、添付ファイルにてお送りください。それが難しい場合は USB メモリか CD に文章を保存し、以下の住所にお送りください。
その際、必ず「南島史学会創立 50 周年記念論集」への投稿であることを明記してください。

〒350-0229

埼玉県新座市中野 1-9-6 跡見学園女子大学

文学部人文学科 森谷裕美子研究室気付

南島史学会事務局

南島史学会創立 50 周年記念論集編集委員会

執筆要領

- 分量：1万8000字以内（注と参考文献と写真も込み、46判1頁の半分サイズ想定の写真1枚で400字換算、上限3枚）写真にはキャプションを付け（複数ある場合は通し番号も）、写真の掲載位置が分かるよう本文中で明示する。図や表を掲載する場合も同じ
 - 執筆の原則
 - ・縦書きとする
 - ・文体は「～だ、～である」調とする
 - ・章タイトルにはメインタイトルとサブタイトルを付ける
 - ・章をいくつかの節に分け、節には通し番号と小見出しを付ける
 - ・章番号、節番号、注番号はアラビア数字
 - ・章末に注と参考文献を付ける
 - ・参考文献の表記は原則として下記のとおり
著者名、刊行の西暦年、書名『メインタイトルーサブタイトル』、出版社
著者名、刊行の西暦年、論文名「メインタイトルーサブタイトル」、編者名、収録誌の誌名・収録共著の書名、出版社
 - ・数字は原則として漢数字で、「十」ではなく「一〇」とする
（例：56は五十六ではなく五六、70は七十ではなく七〇）引用箇所は原文どおり
 - ・英字やアラビア数字は半角
 - ・英字の人名、書名、地名などの固有名詞のカナ表記で、原語の併記が必要な場合は（ ）内に入れて添える
 - 漢字／平仮名の表記（例）

敢えて→あえて 予め→あらかじめ 或る→ある 未だ→（い）まだ 及び→および 難い→がたい

且つ→かつ 事→こと 毎→ごと 更に→さらに 既に→すでに 但し→ただし 為→ため
因みに→ちなみに 出来る→できる 何処→どこ 尚→なお 何故→なぜ 筈→はず
ひとつ→一つ ひとり→一人 程→ほど 殆ど→ほとんど 先ず→まず 又→また 易い→やすい
故→ゆえ 訳→わけ 僅か→わずか
 - 送り仮名の表記（例）

当る→当たる 表わす→表す 現われる→現れる 起す→起こす 行なう→行う 関る→関わる
変る→変わる
- ※ 上記以外のものについては、編集委員会でできるだけ統一いたします。

校正は初校→再校→念校の3回までとし、初校と再校は各章を各執筆者と出版社との間で、念校は全章

をまとめたものを編者と出版社の間で行います。